

---

# MY PLACE

裕夜

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

MY PLACE

### 【Nコード】

N5724D

### 【作者名】

裕夜

### 【あらすじ】

兄貴をなくして5年。兄貴が死んだのを境に”死線”が見えるようになった沙羅。そんな彼女の前にある男が現れる。そこから、沙羅の本当の人生が幕をあけた。

## 0：消失

### 0：消失

あたしの兄貴は”ワル”だった。

毎晩遊びに行って帰ってくるのは夜。

よく笑ってた兄貴だけど、ときどき見せる顔はすごく怖かった。

かつこよかった兄貴は良くもてた。

兄貴に彼女が居ないときをあたしは知らない。

そんな兄貴が突然死んだ。

事故だったらしい。

お酒を飲んでバイクで走り回って事故った。

父さんは拳を握って震えていて、母さんは泣き崩れた。

「馬鹿だなあ、兄貴。」

あたしの口からはそんな一言しか出てこなかった。

涙も出なかった。

・・・外を見ると、すごく綺麗な青空だった。

- 兄貴と心をなくした 12の夏 -

やっぱり兄貴のことは怖かった。

でも、大好きだった。

## 1：死線

冷たい北風があたしの顔に吹き付ける。

今日も”死線”が見える。

兄貴が死んで5年。あたしは高校生になった。

普通に友達も居るし、部活だってやってる。

そんなあたしが他人とひとつだけ違う事。

”死線”が見えること。

兄貴が死んだ次の日、あたしの世界が変わった。

そこらじゅうに落書きのような黒い線。

ベッドに、TVに、ぬいぐるみにも……。

あたしは一番近くにあったぬいぐるみを手にとって、線をなぞった。

すると……

なぞった線に沿ってぬいぐるみが二つに切れた。

まるで刃物に切られたように。

あたしは次々に物をなぞっていった。

鉛筆だって、下敷きだって・・・鉄製のものまで壊れていく。

ガチャッ

「沙羅、あなた何してるの？」

物音を聞きつけて母さんが部屋に入ってきた。

母さんの目に映るのは・・・壊れたものにかこまれてるあたし。

「沙羅!!」

母さんは悲鳴に近い声を上げた。

「母さん・・・この線、何？」

「え？」

「落書きしたみたいに・・・そこらじゅうにあるじゃん。」

この線なぞったらなんでも切れたんだよ。」

母さんは、青ざめた。

「線なんて・・・何も・・・ないわよ・・・。」

泣き出す母さん。

あたしが変になってしまったのかと。

なぜ自分の生む子は普通じゃないのかと。

兄貴が死んだだけでも壊れかけていた母さんは本当にボロボロだった。

あたしは、そんな母さんを見ている事はできなかった。

「なーんちゃって！！うそだよ、母さん。」

そう言ってあたしが笑うと、馬鹿な事はやめなさいと安心したように言っただけで母さんは部屋から出て行った。

あたしはそれを”死線”と読んでだれにも教えなかった。

そう、誰にも・・・

## 1：死線（後書き）

次からちゃんと本編となります（たぶん

ちゃんと主人公と要人物からみます（たぶん



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5724d/>

---

MY PLACE

2010年10月26日09時29分発行